

進路だより

大阪府立すながわ高等支援学校進路指導部
令和5年5月25日発行

現場実習に向けて、しっかりと準備をしよう！！

5月も終わりが近づいてきました。6月には各学年ともに現場実習が予定されています。生徒のみなさんが将来の進路を主体的に選択するためには、早い段階から「働くとはどういうことか?」、「世の中にはどんな仕事があるのか?」を知ることがとても大切です。そのために、すながわ高等支援学校では1年生から現場実習を行っています。各学年の現場実習の目的を確認したうえで、しっかりと準備を進めていきましょう。現場実習とは、実習先での就労体験だけでなく、事前学習、事後学習をしっかりとこなして完了です。

現場実習を有意義なものにするためには、①事前に自分の目標や課題をしっかりと考えて設定する、②設定した目標や課題を意識して実習に取り組む、③事後に丁寧に振り返りを行い、目標の達成状況や次の課題について考えることが大切です。将来、長く安定して働き続けるために、目標を一つずつクリアし、自分でできることを増やしていきましょう。

現場実習	=	事前学習	+	実習先での体験	+	事後学習
		(目標の確認)		(目標を意識して取り組む)		(目標達成状況の確認)

実習中のご家庭での支援について(お願い)

学校では現場実習に向けて、各学年に応じた事前学習を行っています。実習中は、ご家庭にもご協力していただきたいことがありますので、お知らせいたします。

出勤前(ご自宅で)

- 遅刻しそう
- 体調が悪いから休みたい

出勤途中で…

- 電車が遅れて間に合わない
- 急に体調が悪くなってきた
- 忘れ物をした、どうしよう～

こんな時は…

まず、生徒が「自分で」学校へ連絡をすることを基本とします

072-485-3810

※その後、実習先にも自分で連絡をします。

社会人としての自覚を育むため、連絡や日ごろの準備は、よほどの事情がない限りは「自分で」行うよう、見守りとご支援をお願いいたします。

現場実習で必ず実践してほしいこと

働くための4原則

- ①みだしなみ … 一緒に働きたいと思われる、清潔感のあるみだしなみを！！
- ②あいさつ … 自分から、相手に聞こえる声で、元気よく！！
- ③時間を守る … 出勤時間、退勤時間、休憩時間など指示をしっかりと守ろう！！
- ④ルールを守る … 実習先のルールをしっかりと守ろう！勝手な判断をしないように！

「どうしよう…。わからない。困った。」と思ったら…

→→ 例) 「わかりません。教えてください。」
「わからないので、もう一度教えてください。」



実習中に「どうしよう」、「困ったな」と思うことがあったら、自分から「わかりません。教えてください」と伝えることが大切です。黙りこんで考えこんでいるときは、たいていの場合、行動が止まっています。これでは「やる気がない」、「さぼっている」と受け取られてしまいます。また、逆にわからないまま勝手に判断で仕事を進めてしまうと、大きな失敗につながります。同じことを何度も質問することがないように、メモを取るようにしましょう。

じっしゅうさき しっぱい
実習先で失敗してしまったら…

どんなに一生懸命に実習に取り組んでいても、失敗してしまうことはあります。大切なことは、正直に報告することと、注意を受けた時のあなたの態度です。同じ失敗をしないように、理解しようとしている姿勢を見せましょう。

<注意を受けた時の基本的な態度>

- ①話をしてくれている人の顔を見て、話を聞く。
- ②相手の話を最後まで聞く。
- ③相手の話が終わったら、「謝る」
- ④注意を受けたことは、実習日誌に記録しておく
- ⑤感情的にならない。(注意を受けても、落ち込みすぎない)



※注意を受けても、「なぜ自分が？」と不満に思うのではなく、相手が自分のどこをどう直してほしいと思っているかを冷静に考えることが大切です。

ほごしや みなさま
保護者の皆様へ

先回りして大人が助けてしまっただけだと、生徒は受け身の姿勢を身につけてしまいます。学校ではそうならないように、自ら「わかりません。教えてください」、「困っています。助けてください」という意思表示を言葉にするまで「待つ」ことを意識しながら指導しています。ご家庭ではいかがでしょうか？ 可愛いあまり、心配なあまり、つつい何でもやってあげていませんか？ お子様の声を待たずに、保護者の方が気持ちを代弁してはいませんか？

人手不足の事業所は非常に多く、担当の仕事を一人でできるようにならないと採用に結びつかないことも多いです。お子様が社会に出たときに困らないように、自分から「Help」を出し、意欲的に学ぼうとする姿勢を養うための支援にご協力をお願いします。